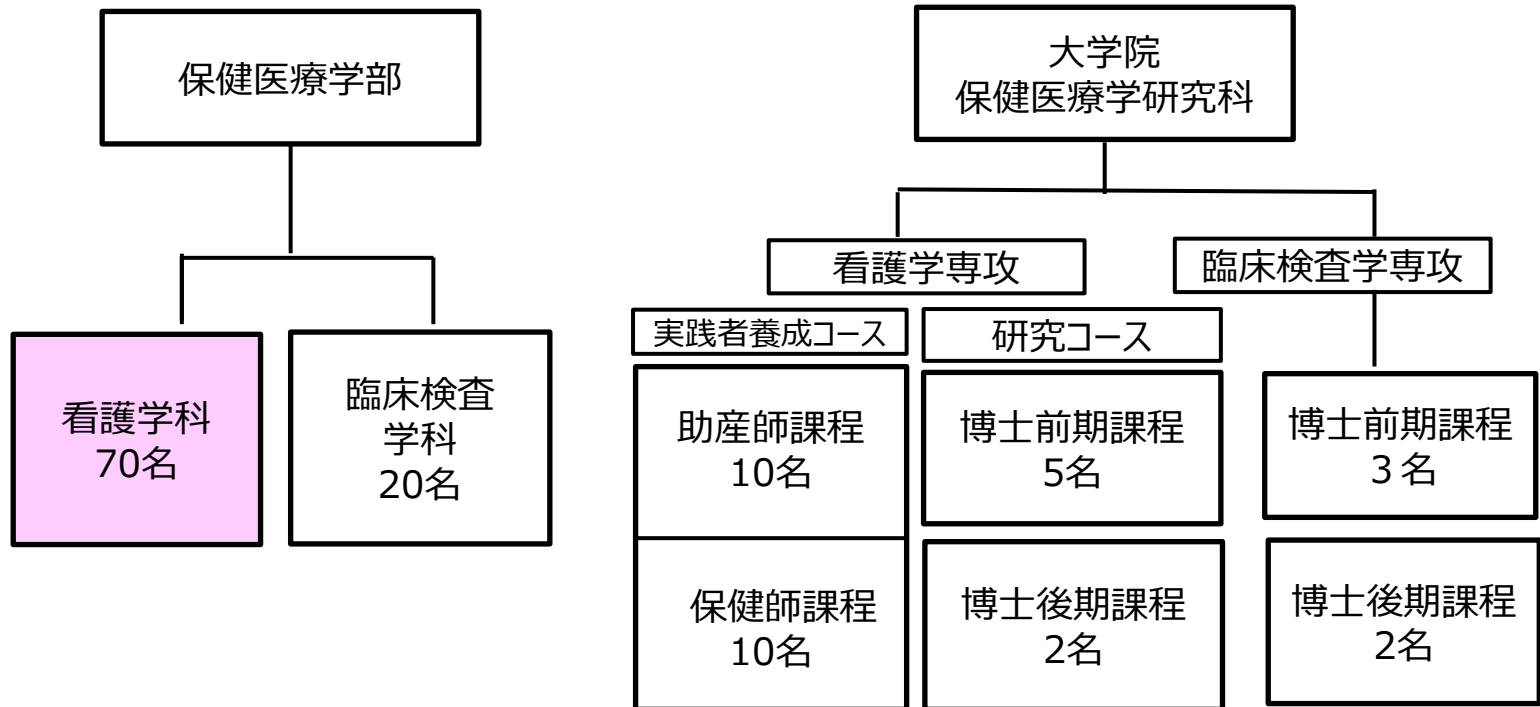




看護学科の紹介



学部・学科等構成



看護職



看護師

病気をもつ人が病院や自宅で安心して生活でき
(療養上の世話)、また治療を受けることができる
(診療の補助)ように援助します



保健師

地域住民の健康や病気の予防についての
保健指導や健康管理、乳幼児検診などを
行います



助産師

出産時に赤ちゃんを取り上げるだけでなく、
妊娠・出産後のお母さんの健康指導、
乳房ケア、新生児のケアなどを行います

看護学科の教育目的

人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする
看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域
の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する自
律性と創造性が発揮できる人材の育成を目指す。



本学看護学科 4年間で実力ある看護師を養成

本学看護学科卒業 看護師国家試験受験資格

社会のニーズに対応

少子超高齢多死社会

- 医療や介護のニーズの増大、多様化・複雑化
- 医療機関の他、在宅や施設など多様な場で活躍できる看護師の育成

自分らしい生き方、対象の価値観を大切にする医療ケア

- 
- 対象となる人の尊厳を擁護できる能力
 - 自律して臨床判断できる能力
 - 多職種と連携調整できる能力
 - 複雑な課題を解決する能力



教育・カリキュラムの特徴

科目編成・実習配置

段階的に学ぶ、着実に学ぶ

段階的に積み上がる
科目編成



生物学、心理学、
法学、人体の構造と機
能、疾病と治療、等

看護学概論、
看護技術論、
看護技術論実習、
等

着実に獲得する
看護実践能力



看護学実習の配置

学びあい、高めあう実践力 総合技術演習・臨床推論演習

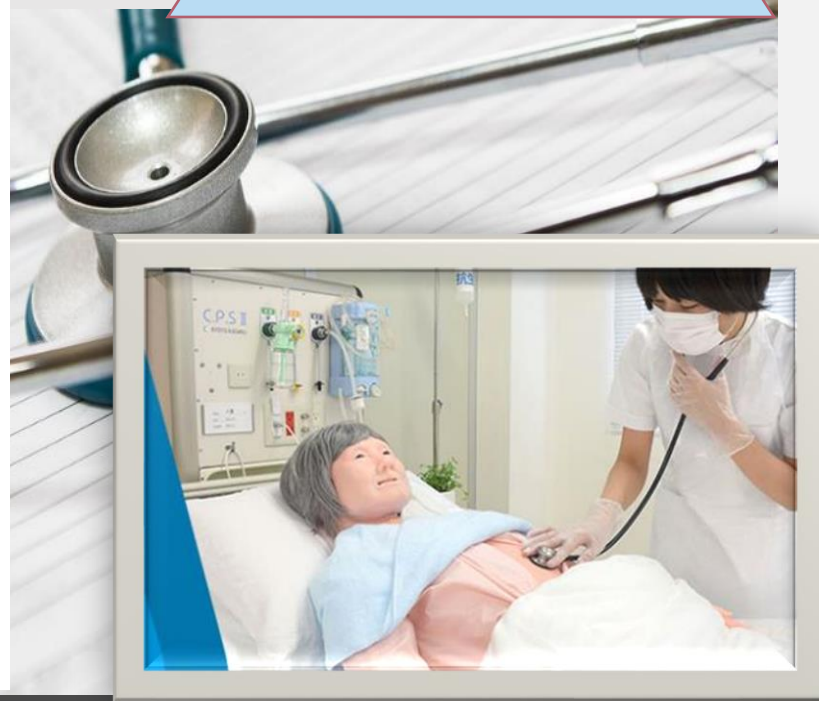
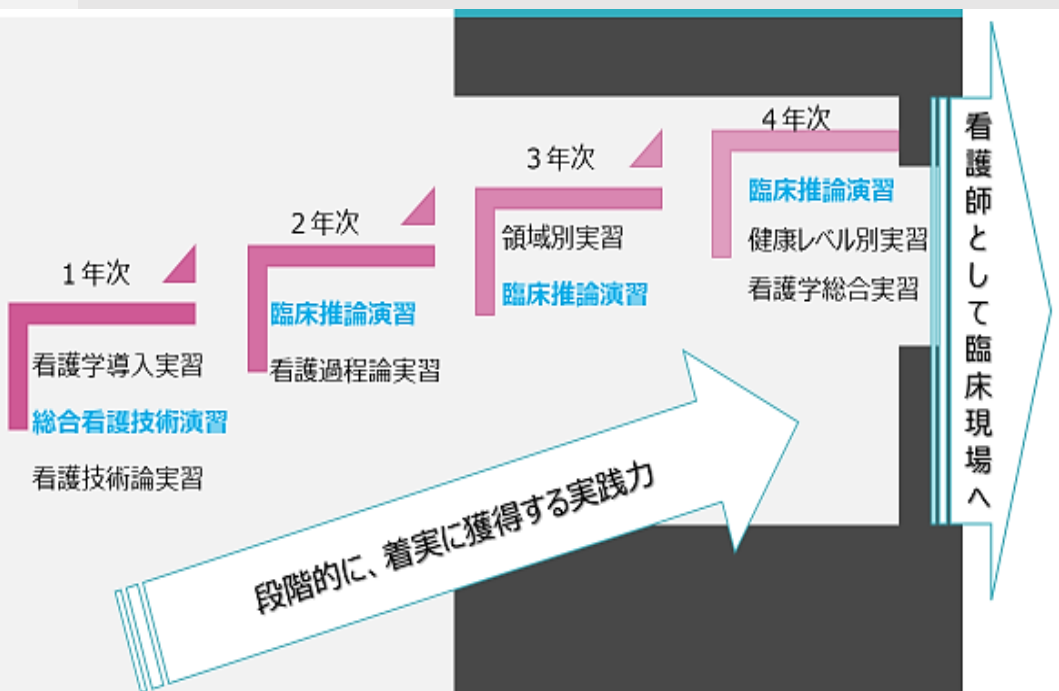
- 1～4年次までの看護学実習前後に配置
- 学年を超えて学生同士で学びあう
- 学生、臨床看護師、教員が合同で学ぶ
- 高性能シミュレーターを活用して学ぶ

学 生

1年+2年
2年+4年

臨床看護師

教 員



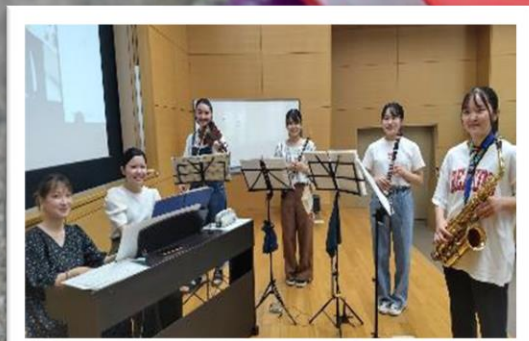
地域貢献への志向性

地域を拠点に、地域の人と共に学ぶ

- 地域包括ケアと看護の役割拡大への理解と関心を培うために、1年次から【地域・在宅看護論】を学ぶ。
- 2年次～4年次までの「地域健康サポーター実習」で学生が自由時間内で、主体的に企画実施し、地域における住民への健康支援の体験型学修を実施する



認知症サポーターキャラバン



地域での生活・健康支援活動を実施

少人数ゼミできめ細かな支援 主体的に学ぶ・未来に向けて学ぶ

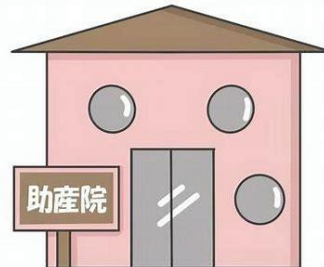
- 1～4年次の少人数ゼミの形式で学ぶ「看護ゼミ」「看護研究」を通して、主体的に課題探求する能力を身につける。
- 小人数グループへの担当教員による個別支援
- 3年次～4年次には、【看護学発展論】の中の多数の選択科目から、学生個人の課題や進路に応じた学びが選択できる。



本学の強み・学ぶ利点

看護学実習における充実した指導体制

- **大学教員と臨床実習指導者の連携と協働**
充実した個別指導
- **実習施設：県内の多様な施設で実習**
県立（中央・丸亀）病院、香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーション病院、屋島総合病院、訪問看護ステーション、老人施設、助産院、保健所、市町保健センター、保育所 等



本学の強み・学ぶ利点

高性能のシミュレーター教材機器の導入

- 臨床場面を再現できる最新シミュレーターの設置
- コロナ禍でも質の高い学内演習が可能な環境

充実した看護学科の教員

実践力・教育力・研究力



本学の強み・学ぶ利点

大学院進学への道

2022年度から保健師・助産師大学院教育を開始

- 博士前期課程（実践コース、研究コース）
- 博士後期課程（教育研究者、組織の指導者）

看護学生としてのキャリア支援

- 卒業生との交流会
- 県内医療機関等と連携した交流会やインターンシップへの参加機会
- 就職コーディネータからのサポート

交流会



看護師国家試験合格率

6年連続
100% !!

年度	卒業	受験者	合格者	本学学生の 合格率 (%)	新卒者の 全国平均 (%)
2024年度	第18期生	67	67	100	95.9%
2023年度	第17期生	70	70	100	93.2%
2022年度	第16期生	68	68	100	95.5
2021年度	第15期生	68	68	100	96.5
2020年度	第14期生	71	71	100	94.7
2019年度	第13期生	64	64	100	94.7
2018年度	第12期生	65	63	96.9	94.7
2017年度	第11期生	69	69	100	96.3
2016年度	第10期生	66	64	96.9	94.3

看護学科として国家試験対策を支援

2024年度の卒業生の進路（抜粋）

＜就職（県内）＞ 看護師34名

香川大学医学部附属病院(10名)、高松赤十字病院(9名)、
香川県立中央病院(7名)、屋島総合病院(3名)、回生病院(2名) など

＜就職（県外）＞ 看護師21名

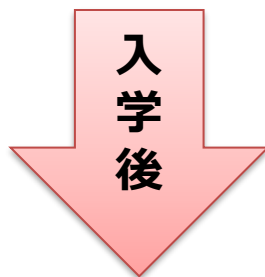
神戸市民病院機構、兵庫県立病院、神戸大学医学部附属病院、
神鋼記念病院、岡山大学病院、大阪府立病院、杏林大学医学部付属病院、
千葉大学医学部附属病院、徳島県立病院など

＜進学＞ 公衆衛生看護学(保健師)8名、助産学(助産学)3名

本学大学院実践者養成コース(公衆衛生看護学6名、助産学2名)
香川大学大学院医学系研究科（博士前期課程 公衆衛生看護学コース1名）
岡山県立大学大学院（博士前期課程 保健師養成課程1名）
名古屋医専（助産師学科1名）

看護学科が入学を望む学生 (アドミッションポリシー)

- 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 状況判断ができ、主体的に行動できる人
- 地域の看護実践の発展に貢献したい人



- 看護の学問と実践の深さや楽しさを学ぶ
- チームで協働して課題解決に取り組む

入学に当たり修得が望まれる知識等

① 基礎学力

高等学校では、国語や英語で読解能力や言語表現能力とともに、数学や理科などの諸科目を含めたバランス良い基礎学力を身につけておいてください。

② コミュニケーション

日常生活や学校生活において、自分の考えを表現するとともに、他者との意見交換を大切にし、互いの価値観や考え方の違いを尊重する習慣を身につけておいてください。

③ 状況判断

自分の体験を振り返って、自らの判断や行動を客観的に分析し、主体的に行動する習慣を身につけておいてください。

④ 地域貢献

看護の対象の中心は人間の生涯にわたる健康生活です。日頃から、自らの心身の健康と地域社会の動向について、幅広く興味関心をもって注目しておいてください。

学生一人ひとりが豊かな知性と人間性をもった看護
専門職として成長するとともに、一人の人間として自分
らしい人生を構築する基盤を形成できるように、教員全
員で支援いたします。

